

はわんぽわん

四日市市ファミリー・サポート・センターは、四日市市こども未来部こども未来課が設置し、NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市が運営する「公設民営」で進められている子育て支援事業です。

子育てを助けてほしい人(依頼会員)と子育てのお手伝いをしたい人(援助会員)が会員になって、相互の信頼と了解のもとに助け合う組織です。国の施策として行われています。

2025年度 第2回新規援助会員講習会 2026/1/24～2/8開催！

新講座「こども虐待と社会的養護」はじまります。

四日市市ファミリー・サポート・センターでは、援助会員になるための講習会を年2回実施しています。

これまで講習会では、基礎講座の中でこども虐待について学んでいましたが、より詳しく学ぶために「こども虐待と社会的養護」として1単元設けることにしました。

◇「こども虐待と社会的養護」

こども虐待の現状だけでなく、こどもを社会全体で育てる「社会的養護」のしくみを知ることができます。

身近なこどもたちのために、私たちにできることを考えてみませんか。

講師：鈴木 聡(あきら)さん

大阪府出身。県立の児童精神科病院(あすなろ学園)指導員として勤務した後、児童相談所に異動。以後30年間、県内各地の児童相談所にて子どもと子育て家庭の支援に従事。現在は三重県市町児童相談アドバイザー、ユマニテク短期大学特任講師などを務めておられます。

その他にも援助会員講習会では、こどもと子育て家庭のおかれる現状やこどもの育ちについて、実習を交えて詳しく学ぶことができます。援助会員講習会では1講座から受講できますので、こどもに関心のある方はぜひご参加ください。

■ 講習会ではこんなことも学びます ■

◇「子どものあそび」

こどもがあそんでいる時はどんなことを感じているのでしょうか。ワクワク・ドキドキを一緒に楽しむヒントが得られます。

◇「子どもの安全と事故・救急法」

人形を使用して、胸骨圧迫やAEDの実技も行います。



詳しい講座日程は中面をご覧ください。



◇「性被害防止のための講習会」を行いました。

こどもを性暴力から守る ～私たち大人が日常でできること～

2025年9月21日

講師：中谷 奈央子先生

思春期保健相談士である中谷先生にお越しいただき、こどもを性暴力から守るために私たち大人が日常でできることについてお話をいただきました。

当日は、援助会員や依頼会員など55名の会員が参加し、新たな気づきや学びの場となりました。



中谷先生の講座より

- ・日本では性教育というと生殖のしくみや身体の変化の学習と捉えられがちだが、国際的には「包括的性教育(※)」として、小さい頃から学ぶ機会を保障する国が増えている。
※「包括的性教育」とは、身体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や多様性、ジェンダー平等など、人権を基盤とし、幅広い内容を体系的に学ぶもの。
- ・性暴力は、性的欲求よりも支配欲から行われることが多い。
- ・望まない性的行為はすべて性暴力であり、被害にあった人は悪くない。
- ・幼少期から「同意」ととってもらふ経験、「NO」と言う経験・受けとめてもらえる経験が大切。
- ・性の話題が出たときは「怒らない」「逃げない」「嘘をつかない」。大人が分からないことを聞かれた時は、魔法の言葉「いい質問だね!」で受けとめて、一緒に調べる。

参加者の振り返りシートから

- ・自分のからだ、こころが大事なと一緒で、相手のそれも大事、責任を持つ、想像する(同意があれば良いんだ、NOと言わないから良いんだ、でなく)ことをもっと教育して親も、ごまかさず、逃げず、伝えなければ、と思いました。
- ・性暴力の根底に支配欲があるという視点、抜けていたかもしれない。性暴力について考えることは、けっきょく人権の問題になるんだ。
- ・先生のお話の中で、「NO」を言えるようになり、それが性も含め、自分の事を大切に思え、自分のことを守るようになるのでは。と思いました。まずは、「受け止めること」から始めたいと思いました。

暮らしの中で意識してみませんか？ 子どもの権利

—その2—

生きる権利・育つ権利
意見を表す権利

第6条 すべての子どもは、生きる権利・育つ権利をもっています。

第12条 子どもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっています。

子どもの権利条約
日本ユニセフ協会抄訳

「自分のからだは自分のもの」「自分のことを決められるのは自分だけ」と意識することが権利意識の基本です。赤ちゃんのオムツを替えるときには「オムツ替えるね。さっぱりして気持ちがいいね」、遊んでいる様子を写真や動画に撮るときは「写真(動画)を撮ってもよいかな?」と同意を得るなど、こどもの頃から一人の人として関わるのが大切です。

こどもの頃から同意をとってもらふ体験、嫌だと感じたときにNOと言う経験が、自分を大切にする意識につながります。

